

「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

分野： 文化・教養 学科名： グラフィックデザイン科

学年	科目コード	科目名	時間数	単位数	内容
1	A1-K12	制作演習選択Ⅰ	60	2	クリエイティブ関連業務に従事経験のある講師が実施することとする。イラストレーションやポリゴン・モザイクアート等、多様な表現方法を学ぶ。
1	A1-K16	入稿技術Ⅰ	120	6	クリエイティブ関連業務に従事経験のある講師が実施することとする。様々な印刷媒体の制作実習を通して、ポスター・冊子・パッケージ・特殊印刷等において、レイアウトから入稿までのDTP技術・知識を身に着ける。
2	A2-K05	デザイン編集ツールⅡ	120	4	クリエイティブ関連業務に従事経験のある講師が実施することとする。冊子等の制作において必要な知識・技術、ソフトの操作を習得する。制作だけではなく、入稿作業までを行うことで、印刷の基礎知識も習得する。
2	A2-K09	WEB作成ツール	60	4	クリエイティブ関連業務に従事経験のある講師が実施することとする。WEBサイト制作の基礎技術（HTML, CSS）を習得し、WEBの特性を考慮したデザインスキルの基礎を身につける。
2	A2-K13	制作演習選択Ⅱ	60	2	クリエイティブ関連業務に従事経験のある講師が実施することとする。学んだ表現方法を自身の作品作りにどのように活用するかを実践を通して学ぶ。
2	A2-K15	商業写真	80	5	クリエイティブ関連業務に従事経験のある講師が実施することとする。クライアント・ターゲットユーザーニーズを意識した発想でプランニングが出来るスキルを養う。コマーシャルベースに適した商品・人物撮影で完成度の高い作品作りを身につける。
2	A2-K17	入稿技術Ⅱ	210	8	クリエイティブ関連業務に従事経験のある講師が実施することとする。1年次よりも高度なデータ作成技術やより深い知識を身につける。
3	A3-K18	入稿技術Ⅲ	340	12	クリエイティブ関連業務に従事経験のある講師が実施することとする。各種媒体の特性や販促展開の意図を汲み取ったデザインを可能とする技術を身につける。
3	A3-K21	アートディレクションⅡ	120	7	クリエイティブ関連業務に従事経験のある講師が実施することとする。ブランドの意味とブランディングの方法論を学習する。企業からの課題を実習することでデザインの思考法を活かしたコミュニケーションの情報の整理、分析、構築の実践、プレゼンテーションを学ぶ。
3	A3-K23	WEBビジネス	80	3	クリエイティブ関連業務に従事経験のある講師が実施することとする。ユーザー目線での導線が明確で反応の取れるWEBページを完成させる。グループワークでの実制作を通して、社会に役立つサービスを生み出す大変さと楽しさを実感し、価値あるWEBサイトを構築する。
合計		10科目	1,250	53	

「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

分野： 工業 学科名： デジタルコンテンツ科

学年	科目コード	科目名	時間数	単位数	内容
1	W1-K05	WEB制作 I	180	6	Webデザイン制作ソフトの操作技術を習得することで、テンプレートやオーサリングツールを使用してWebページを視覚的にデザインし、制作・編集することができる。Webデザイン制作ソフトのFigmaを、現役のWebデザイナーである金澤が担当する。
1	W1-K07	デザイン編集ツール	180	9	ドローツールや画像編集ツールの操作技術を習得することで、制作における素材作成の基礎を身につける。オブジェクトの作図、画像のレタッチ、画像補正、解像度の理解、レイアウト基本から応用まで、ステップバイステップで複数の技能を身につける。
1	W1-K09	撮影・動画編集基礎	140	7	撮影機材の取り扱い方、ライティングなど、クライアントの要求に対応した的確な演出方法、撮影方法など、制作のための素材となる静止画・動画の撮影技術を身につける。また、簡易編集ソフトウェアで編集し、制作に必要な素材を制作することができる。撮影スタジオを経営しカメラマン・動画クリエイターとして海外でも活躍している竹原、現役の動画クリエイターの宮田が担当する。
1	W1-K12	WEBデザイン基礎	40	2	Webデザインとは、どのように人を惹きつけ機能しているのか、世にあるWebサイトを分析・研究し、考察する。デザインを行う上で必要となる感覚を理解し、前提となる感受性を養う。現役のWebデザイナーである松村が授業を担当する。
2	W2-K08	動画制作ツール	180	9	動画制作ソフトの操作技術を習得し、的確に素材を切り貼りして1本の動画にすることが出来る。またデジタル合成やモーショングラフィックスなどの効果を加えることで、要望に応じた動画を作ることが出来る。制作実習は動画クリエイターで活躍している沼田が担当する。
2	W2-K10	動画制作実習 I	180	6	様々な媒体を想定して、実践的な動画作品の制作を行う。それぞれの場面に応じた表現を経験することで、より多くの動画制作の技術を向上させる。動画クリエイターとして海外でも活躍している竹原、Filmenntsという浜松の動画制作会社代表の深瀬、デジタルサイネージクリエイターとして活躍している長谷川が担当する。
2	W2-K15	WEBデザイン II	90	6	具体的な販売促進を想定し、顧客ニーズを的確につかみ導線が明確で、成果の上がるWEBページを構築方法を体系的に学ぶ。マーケティングを理解し、ユーザーからの反応の取れるWEBページを完成させる。広告デザインで活躍する遠藤が企画を担当し、現役Webデザイナー澁谷がサイト制作部分を担当する。
2	W2-K22	ポートフォリオ I	80	4	就職活動に必要なこれまでの制作成果や自己PRのためのツールを効果的にまとめる。現役デザイナーの満森が担当する。
3	W3-K11	動画制作実習 II	180	6	実践を想定したクライアントワークを行う中で、より確実な動画制作の力をつける。また映像配信の知識、技術を学ぶ。Filmenntsという浜松の動画制作会社代表の深瀬とデジタルサイネージクリエイターとして活躍している長谷川が担当する。
3	W3-K18	サイト制作・運営実習	120	4	より実践的にWeb制作を行い、運用に関わる様々なリスクやトラブル、成果を検証し適切に管理運営するための戦略的なプロジェクトマネジメントを経験する。サイト制作実習は、Web制作会社wetchの鈴木が担当する。

3	W3-K26	卒業制作	360	12	3年間の集大成として、身につけた技術をどう社会につなげるかを実践する。テーマを基に企画立案を行い、企画書プレゼンテーションを実施。その後中間プレゼンテーションなどで審査を行い、対外的に発表を行う。現役動画クリエイターの沼田が動画を担当する。
		11科目	1,730	71	

「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

分野： 工業 学科名： CADデザイン科

学年	科目コード	科目名	時間数	単位数	内容
1	D1-K04	機械製図	60	4	製造業で実務経験のある教員が担当する。CADによる2次元製図に必要な知識を学習する。JIS製図規則に従い、図面の読み書きが出来るよう、製図の基本事項を学習・演習する。
1	D1-K12	CAD概論	30	2	CAD設計経験のある教員が担当する。CADの特性や基本的な操作方法について学習する。CADを活用していく上での総論的な知識を習得する。
1	D1-K15	テクニカル イラストレーション	30	1	製造業でデザインの実務経験のある教員が担当する。物の形状を視覚的にわかりやすく伝えるために、計量的に物体の形の寸法をとり、その寸法に従って一定のルールで描く立体図の作図方法を学習する。
1	D1-K18	機械要素	30	2	製造業で実務経験のある教員が担当する。ねじ部品、歯車、軸、軸受などの機械システムを構成する基本的な機械要素や運動機構について学び、設計の基本的考えと流れをを学習する。
1	D1-K20	マシニング基礎	30	2	製造業で実務経験のある教員が担当する。設計技術者として必要な知識である基本的な加工方法、またそれらを実現するための工作機械の構造や仕組みについて学習する。
1	D1-K24	3Dデジタルワーク I	60	2	デザインの実務経験のある教員が担当する。CADデータを制作するだけでなく、CADデータを活用しながら実物モデルを制作し、基本的なCADからの実物モデル制作の流れを学習する。
2	D2-K16	問題解決技法	30	1	就職支援業界でキャリア・カウンセリングや企業の人財育成支援経験のある教員が担当する。開発の流れの中で発生した問題をまとめ、原因追及、解決していく基本的な問題解決の手法を学習する。
2	D2-K17	製品企画	30	1	デザインの実務経験のある教員が担当する。製品を企画・開発し、市場に出すまでの過程を簡単な演習も取り入れながら製品企画のプロセスに沿って用語や手法の詳細な解説を行い、製品企画に関する基礎知識を体系的に学習する。
2	D2-K19	メカニカルデザイン	120	4	機械設計の実際の製品をベースにして、応用的な機械システムの企画・設計・評価の演習をする。機構やリンクに対する理解も深める。
2	D2-K21	生産・製造概論	60	4	製造業で実務経験のある教員が担当する。生産に関わる知識の全体像を演習を通し学習する。また、工場の自動化を意識した生産管理や生産設備について学習する。
2	D2-K22	CAM技術	60	2	製造業でNC加工実務経験のある教員が担当する。CAMとNC制御工作機械の概要とそのプログラミング技法について学習する。基本的なGコマンドを使い、簡単なマニュアルプログラミングを行う。
2	D2-K25	3Dデジタルワーク II	120	4	デザインの実務経験のある教員が担当する。CADデータからの実物モデル製作をより複雑な形状に対応しつつ複数人で制作・学習する。
2	D2-K26	カーデザイン	60	2	デザインの実務経験のある教員が担当する。自動車の車体や自動車部品の概観デザインの基本について学習・演習する。
合計		13科目	720	31	

「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

分野： 文化・教養 学科名： メイク・ブライダル科

学年	科目コード	科目名	時間数	単位数	内容
1	M1-K06	接客Ⅰ	50	2	5つ星ホテルでフロント経験のある講師が担当するサービス接客検定3級の取得。顧客心理への理解を深め、お客様視点やニーズの抽出の仕方を学ぶ。接客ロールプレイングを学び、お出迎えからお見送りまでの一連の動作が出来る。
1	M1-K09	メイク基礎	240	8	化粧品販売員として経験がある講師が担当する。メイク・スキンケアの正しい基礎知識を身に付ける。技術だけでなく、所作・マナー・時間の感覚・施術者としての基本思考を身に付ける事で、お客様に支持されるプロとして活躍できる人材になる。JMA検定3級。
1	M1-K11	ヘア基礎	80	4	美容室を運営し、美容師として人材育成経験のある講師が担当する。ヘアセットの基礎技術（ブラッシング・ホットカラー・ピニング・アイロン・編み込み）の習得。お客様視点を身に付けていく為、基礎の段階から、時間意識を持つての丁寧な実習、技術習得を行う。
1	M1-K13	クリエイションⅠ	90	4	ヘアメイクアップアーティストとして経験がある講師と、美容室を運営し人材育成経験のある講師が担当する。コンセプトに合ったヘアメイククリエイションが出来る。狙いに合わせたアイテムや道具の使い方、色・質感・形の違いを学ぶイメージクリエイションを理解する。ヘアとメイク作品制作を行う。
1	M1-K15	ブライダル基礎	120	6	ブライダルサロンを運営し経験のある講師が担当するAWP検定取得。ブライダル業界のしきたりやマナーなどの基礎知識を学ぶ。実際の式場を見学し流動す現場の今を知る。ブライダル基本のヘアメイクを学ぶ。（花嫁・メンズ・年齢別）ドレスの扱い、小物の扱いを学ぶ。
1	M1-K19	トータルビューティⅠ	120	6	ネイリストである講師が担当する。ネイル検定3級。アロマ・ネイルなど、美容業界に必要なトータルビューティの知識を身につける。知識だけではなく、お客様に還元できるカウンセリング技術も身につける。
2	M2-K07	接客Ⅱ	60	3	5つ星ホテルでフロント経験のある講師が担当する。サービス接客検定2級の取得。顧客心理への理解を深め、お客様視点やニーズの抽出の仕方を学ぶ。接客ロールプレイングを学び、お出迎えからお見送りまでの一連の動作が出来る。
2	M2-K10	メイク応用	180	6	ヘアメイクアップアーティストとして経験がある講師が担当する。メイクの基本を応用に展開する思考技術を身につける。自分の好きなメイクではなく、お客様に似合わせる為のメイクを学ぶ。黄金バランスを指針とする事で、変化の激しい美容業界の流行を自身で見極め、対応する力を身に付ける。JMA2級。

2	M2-K12	ヘア応用	90	6	美容室を運営し、美容師として人材育成経験のある講師が担当する。お客様の要望にあった、ヘアイメージを理解、提案、実施する為に3つのウエイトについて学ぶ。崩れないピンニング・デザインに合ったカラーの配列が出来るようになる。3つのウエイトの判別が理解でき、ウエイトコントロール・イメージにあったヘアデザインが出来る。
2	M2-K14	クリエイションⅡ	150	7	ヘアメイクアップアーティストとして経験がある講師と、美容室を運営し人材育成経験のある講師が担当する。コンセプトに合ったヘアメイククリエイションが出来る。狙いに合わせたアイテムや道具の選択、色・質感・形を使ってイメージクリエイションが出来る。写真、動画作成技術を学び発信方法までを習得。コンテストの参加。ヘアメイク作品の制作。
2	M2-K16	ブライダル実践	180	9	ブライダルサロンを運営し経験のある講師が担当する。模擬披露宴と模擬挙式の実施。全てのブライダルの業務ができる知識と技術を学ぶ。ブライダルかつらや、綿帽子など専門技術を磨く。花嫁着付け・袴着付けが出来る。ブライダル従事者に必須のおもてなしの心を身につける。
2	M2-K20	トータルビューティⅡ	90	4	ネイリストである講師が担当する。ジェルネイル検定初級。エステ・ネイル・エアブラシを中心に、美容業界で必要なトータルビューティの知識を身につける。応用として、提案カウンセリング、発信が出来る。エアブラシの分解洗浄が出来る。
2	M2-K21	卒業制作	100	3	ヘアメイクアップアーティストと美容室を運営し人材育成経験のある講師が担当する。2年生間の集大成としたヘアメイクネイル制作。制作だけではなく、他者に美容を通して発信することが出来るまでを身につける。
合計		13科目	1,550	68	

「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

分野： 工業 学科名： AI×コンピュータ科

学年	科目コード	科目名	時間数	単位数	内容
1	C1-K04	情報基礎理論	120	8	コンピュータの仕組みについて、構成要素、データ表現、記憶装置、プロセッサの動作原理、入出力装置などの基本的な知識を習得する。基数変換などの計算は確実に理解したい。情報処理関連企業でプログラマ・システムエンジニアとして勤務実績のある教員が指導する。
1	C1-K05	情報リテラシー	60	4	パソコンの機器構成やWindowsの基本操作及びファイルの操作、Word、Excel、Accessなどを使ってビジネスアプリケーションを学習する。情報処理関連企業でプログラマ・システムエンジニアとして勤務実績のある教員が指導する。
1	C1-K06	特別講座 I	30	2	業務データを適切な方法で分析し、当該ビジネスの現状や課題を把握した上で、表やグラフを用いた的確な報告書を作成する。また、ケーススタディを通し、ビジネス遂行に必要な「報告・連絡・相談」と「情報共有スキル」を習得する。情報処理関連企業でプログラマ・システムエンジニアとして勤務実績のある教員が指導する。
2	C2-K08	卒業研究	270	9	2年間の成果を残すための制作演習を行う。プログラミングまたはネットワークについての学習を目に見えるものとして作品を残す。情報処理関連企業でプログラマ・システムエンジニアとして勤務実績のある教員が指導する。
合計		4科目	480	23	

「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

分野： 工業 学科名： セキュリティネットワーク科

学年	科目コード	科目名	時間数	単位数	内容
1	S1-K05	クラウド基礎	30	2	IT業界でプログラマ経験のある教員が、クラウドの基礎知識、仮想環境構築や操作に必要なコマンド操作を指導し、クラウドサービスを扱うための基礎技術を身に付ける。
1	S1-K09	セキュリティプログラミング	120	4	IT業界でプログラマ経験のある教員が、セキュアなWebサイトやWebアプリケーションを制作する上で必要となる基本的なプログラミング技術を指導する。本講座では、システム開発に必要なアプリケーションが動く仕組みやシステム開発手法を学んだ後、アルゴリズムの学習を通して、実際のプログラミング技術を習得する。
1	S1-K15	LAN構築演習Ⅰ	90	3	企業でネットワーク構築経験のある教員が、イーサネットや無線LAN、TCP/IPなどの基本的なネットワーク知識とL2スイッチやルーターなどネットワーク機器の基本的な動作と設定方法を指導する。
1	S1-K17	サーバ構築演習Ⅰ	60	2	IT業界でプログラマ経験のある教員が、Webサーバーなどに使用されるLinuxOSの基本知識を指導する。基本操作、ユーザー権限、ネットワーク設定、セキュリティ設定、および代表的なサーバーであるWebサーバーの構築を行う。
1	S1-K21	総合演習	30	1	企業でシステム開発の経験のある教員が、クラウド基礎やサーバ構築演習Ⅰなどで学習した知識を活用し、サーバやセキュリティについての技術をさらに深める。
2	S2-K07	セキュリティマネジメントⅡ	100	6	企業でシステム開発経験のある教員がプロジェクト管理に必須な資源管理（ファイル管理等）やログ管理の基礎知識を教授する。
2	S2-K12	情報分析演習	150	5	企業でシステム管理経験のある教員が、システム監視に必要な情報収集と分析、可視化技術を指導する。システム設計、アプリケーション開発の演習を通して、システムで利用される情報技術の理解を深める。
2	S2-K16	LAN構築演習Ⅱ	120	4	企業でネットワーク構築経験のある教員が、イーサネットや無線LAN、TCP/IPなどの基本的なネットワーク知識とL2スイッチやルーターなどネットワーク機器の基本的な動作と設定方法を指導する。実機を使った演習を行い、ネットワークの動作原理の理解を深める。
2	S2-K18	サーバ構築演習Ⅱ	150	5	企業でクラウドシステム管理の経験のある教員が、クラウドサービスの基礎知識を基に、仮想環境上に各種サーバ機能（ネットワーク、データベース、Webシステムなど）を構築する演習を行うことで、クラウドの導入から運用までの技術を指導する。
合計		9科目	850	32	

「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

分野： 工業 学科名： ゲームクリエイト科

学年	科目コード	科目名	時間数	単位数	内容
1	G1-K04	デジタル画像編集基礎	60	2	ゲーム制作分野におけるキャラクタ、背景、エフェクトなど2D（平面）画像制作に必要な画像編集に関連する技術の習得を目的に、デジタルコンテンツ制作の実務経験のある教員が、画像編集ソフトを利用してデジタル画像の制作演習を行う。
1	G1-K05	アルゴリズムとデータ構造	30	2	論理的思考能力を身につけ表現する授業である。システムエンジニアとして実務経験のある教員が、フローチャートの読み書き、アルゴリズムの読解を通じ、自らの考えを正確に順序立てて説明できるような学習を行う。情報処理関連企業でプログラマ・システムエンジニアとして勤務実績のある教員が指導する。
1	G1-K06	プログラミング基礎	120	8	C言語の学習を通じて、プログラミング言語ならではのルールや記述方法、処理の流れを、プログラマとして実務経験のある教員によって、「読む・書く・考える・伝える」ことができるプログラミングの基礎を学習する。情報処理関連企業でプログラマ・システムエンジニアとして勤務実績のある教員が指導する。
1	G1-K10	情報技術基礎Ⅰ	150	10	基本情報技術者試験科目A免除試験を受験するための対策科目である。IT関連に実務経験のある教員の講義によって、ハードウェアやソフトウェア、情報数学や経営など、エンジニアを目指すために最初に身につけてほしい知識や技術を学ぶ。
1	G1-K11	情報技術基礎Ⅱ	150	10	基本情報技術者試験 科目A免除試験を受験するための対策科目である。IT関連に実務経験のある教員の講義によって、DB、システム開発、NW、セキュリティ、PMなど、エンジニアとして知っているべき知識や技術を学ぶ。
1	G1-K13	3DCG基礎	90	3	ゲーム制作で活用される3次元コンピュータグラフィックス（3DCG）に関する知識、技術の基礎を習得することを目的に、実際活用されているDCCツールを用いて3DCG制作の演習を行う。デジタルコンテンツ制作の実務経験のある教員が指導する。
1	G1-K16	ゲームプログラミング入門	120	4	プログラミング基礎の授業を基に、Windowsで動作するゲームを開発するための初歩を学習する。APIの活用やゲームライブラリの仕組みを理解するための処理順や技術の習得を目的に、プログラマとして実務経験のある教員が講義を行う。
1	G1-K22	WEB制作基礎	60	2	Webサイト制作に関する基礎知識と基礎技術の習得を目的に、Webサイト制作の実務経験のある教員の講義を以ってHTMLとCSSに関する知識を学習し、Webサイト制作を通して技術の習得を行う。
2	G2-K07	プログラミング応用	60	4	オブジェクト指向プログラミングの学習を通じて、その利点やC言語との違いを理解し、プログラミングの考え方を応用する。プログラミングの再利用性や効率性を高めるための考え方も学習する。情報処理関連企業でプログラマ・システムエンジニアとして勤務実績のある教員が指導する。

2	G2-K12	情報技術応用	120	8	基本情報技術者試験 試験対策授業科目である。科目B試験を中心に問題を解き、解説を聞きながら自己理解を深める。問題の解き方の要点を抑えながら試験合格を目指す学習を行う。情報処理関連企業でプログラマ・システムエンジニアとして勤務実績のある教員が指導する。
2	G2-K14	3DCG応用	150	8	3DCG基礎の授業を基礎として、ゲームエンジンやDCCツール間で連携してコンテンツ制作が行える技術の習得を目的に、3DCGモデリングツールや3DCG統合ソフトの技術習得を行い、それらとゲームエンジンと連携してアセット作成の演習を行う。デジタルコンテンツ制作の実務経験のある教員が指導する。
2	G2-K17	ゲームプログラミング基礎	240	8	ゲームで利用する数学・物理やバージョン管理など、ゲームプログラミング周辺の技術も学習する。ゲームならではのプログラミング方法を理解して作品制作で活用できる基礎力を身につける。情報処理関連企業でプログラマ・システムエンジニアとして勤務実績のある教員が指導する。
2	G2-K20	ゲームエンジン基礎	60	2	コンテンツとプログラムを総合的に利用し、ゲーム開発を行うゲームエンジンについての基礎知識、技術の習得を目的に、簡単なゲーム制作演習を通して、ゲームエンジンの利用、スクリプトの作成、アセットの利用方法などを学習する。情報処理関連企業でプログラマ・システムエンジニアとして勤務実績のある教員が指導する。
3	G3-K15	DCCツール演習	60	2	最新のゲーム制作のワークフローに適応した技術を習得することを目的に、ゲームエンジンとDCCツールを連携したコンテンツ制作演習を行う。デジタルコンテンツ制作の実務経験のある教員が指導する。
3	G3-K18	ゲームプログラミング応用	120	4	ゲーム開発現場で活用されるプログラミング言語や開発ツールの理解を通じ、様々なゲームライブラリやゲームエンジンに対応できる応用力を身につける。情報処理関連企業でプログラマ・システムエンジニアとして勤務実績のある教員が指導する。
3	G3-K24	WEBサイト制作演習	60	2	Web制作基礎、Webサイト制作応用で学んだ技術を基礎に、標準的なワークフローに基づいたWebサイト制作が行えることを目標に、包括的なWebサイト制作演習を行う。Webサイト制作の実務経験のある教員が指導する。
合計		16科目	1,650	79	

「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

分野： 教育・社会福祉 学科名： 未来こども科（単位制）

学年	科目コード	科目名	単位数	内容
1	K1-K04	情報処理入門 I	1	IT企業でシステム開発やOffice製品を用いて業務に携わった勤務実績のある教員が指導する。コンピュータの基本用語を理解した上で、情報の意味とコンピュータの発達過程、ハードウェア/ソフトウェアについて学ぶ。
1	K1-K07	幼児と言葉	1	幼稚園教諭及び保育所保育士の経験がある教員が指導する。領域「言葉」の指導の基盤となる、幼児が豊かな言葉や表現を身に付け、想像する楽しさを広げるために専門的事項に関する知識を身に付ける。
1	K1-K08	幼児と人間関係	1	現在、幼稚園園長として幼児教育に携わる教員が指導する。領域「人間関係」に関する知識の習得、子ども個人の成長と、仲間集団の成長との双方に配慮しながら具体的な指導を行う実践力の基礎を培う。
1	K1-K09	幼児と環境	1	認定こども園保育教諭の経験がある教員が指導する。領域「環境」のねらいと内容を理解する。また、「環境とかかわる力」の発達について理解する。自然環境や社会環境などの具体的体験を重視した保育を設定し、実践的に指導する力を養う。
1	K1-K11	社会福祉	2	社会福祉士として社会福祉事業に携わる教員が指導する。少子高齢化、経済社会状況の変化等、現代社会における社会福祉の全体像を理解し、「自立支援」に焦点をおいた社会福祉施策の展開、具体的・個別的な実践を学ぶ。また、児童福祉分野における自立支援、子育て支援の方法について考える。
1	K1-K12	教育原理	2	公立幼稚園の園長経験がある教員が指導する。教育の本質・意義・目的・機能、子ども家庭福祉等との関わりを理解し、教育に関する基本的な概念と知識の習得を図ることを目標とする。
1	K1-K22	社会的養護 I	2	児童養護施設施設長として施設養護に携わる教員が指導する。現代社会における社会的養護の意義と歴史的変遷、子どもの人権を踏まえた社会的養護の基本を理解する。また、社会的養護の制度や実施体系、対象や形態、関係する専門職種、現状と課題について学ぶ。
1	K1-K25	保育の計画と評価	2	幼稚園教諭として幼児教育に携わる教員が指導する。保育の計画と評価の基本を学び、全体的な計画と指導計画の作成について、その意義と方法を理解する。また、子どもの理解に基づく保育の過程（計画・実践・記録・省察・評価・改善）について、その全体構造を捉え、理解をする。
1	K1-K26	保育内容総論	1	保育所園長として保育所保育に携わる教員が指導する。保育所保育の子どもの育ちをめぐる現状と課題、保育所保育の役割、環境を通して行う保育、保育における遊びの位置づけなどの基本原理を理解する。また、指導計画を立案する。

1	K1-K27	教育方法論	2	保育所園長として保育所保育に携わる教員が指導する。教育の方法に関する理論的知識を学び、幼児期の教育の方法に関する基本原理を理解する。また、これらを踏まえた保育現場における実践を構想できる。
1	K1-K28	保育者論	2	公立幼稚園の園長経験がある教員が指導する。保育職の意義や役割、職務内容、倫理などの基本を学び、保育者に何が求められているのか、保育者として社会の期待に応えるためにはどのような努力をする必要があるのかを考えることから、保育という仕事を遂行していくための能力を形成することを目標とする。また、保育者の資質向上とキャリア形成について理解を深める。
1	K1-K30	児童文化	1	幼稚園教諭及び保育所保育士の経験がある教員が指導する。児童文化の重要性を十分に認識した上で、実習を行い、児童文化の分野の実践的な指導ができるようになることを目標とする。
1	K1-K33	保育実習指導Ⅰ（保育所）	1	保育所園長経験がある教員が指導する。保育実習の全体的な枠組みを理解し、実習に臨む心構えを作る。特に指導計画案の作成や実習日誌の書き方等にかかわる知識と技能を身につける。
1	K1-K35	保育実習Ⅰ（保育）	2	保育所保育士の経験がある教員が指導する。これまで学習してきた理論や技術が、保育の実践と具体的にどのように繋がるのか理解する。また、保育の技術や、能力を向上させ、保育観や子ども観を深める。
1	K1-K39	実習事前・事後指導Ⅰ	2	幼稚園教諭及び保育所保育士の経験がある教員が指導する。実習の意義・目的を理解し、実習中の自らの課題を明確にする。実習の事後指導を通じて、実習の総括と自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にする。
1	K1-K43	実践講座Ⅰ	1	保育教諭の経験がある教員が指導する。季節の歌や語り継がれる童謡、手遊び、リズム表現等の保育技術を学ぶ。また、保育現場で必要な造形表現技術、児童文化財の製作から実践について学ぶ。
1	K1-K46	保育総合演習Ⅰ	1	幼稚園教諭及び保育所保育士の経験がある教員が指導する。保育における様々な表現方法を学び、保育現場における表現活動について研究する。また、表現における技術や知識を身につけ、感性を豊かにする。
1	K1-S03	情報処理入門ⅠS	1	IT企業でシステム開発やOffice製品を用いて業務に携わった勤務実績のある教員が指導する。コンピュータの基本用語を理解した上で、利用頻度の高い事務系ソフトの基礎的な利活用方法を、演習を通して習得する。
1	K1-S08	健康（指導法）S	1	幼稚園教諭、保育所園長の経験がある教員が指導する。保育所保育指針及び幼保連携型認定こども園教育・保育要領、幼稚園教育要領に示される「ねらい」「内容」などの「健康」領域の構造を理解する。「健康」に関する保育内容及び方法を実践的に学び、基礎的な知識・技能を獲得する。

1	K1-S09	人間関係 (指導法) S	1	現在、幼稚園園長として幼児教育に携わる教員が指導する。領域「人間関係」に関する教育・保育内容及び指導に関する知識・技術を習得する。また、子どもの発達を領域「人間関係」の観点で捉え、子どもの理解を深める。
1	K1-S11	環境 (指導法) S	1	認定こども園保育教諭の経験がある教員が指導する。子どもたちに影響を与える環境の現状・問題について理解し、子どもたちが生きる力を培うための保育の工夫、自然体験・社会体験など具体的生活体験を重視した保育を自ら設定できるようになる。
1	K1-S12	言葉 (指導法) S	1	幼稚園教諭及び保育所保育士の経験がある教員が指導する。人間にとっての言葉(言語)の役割・言語獲得の理論、子どもの言葉を育む適切な環境を理解する。保育内容「言葉」を理解し、保育者としての子どもとの関わり方を身につける。
1	K1-S18	劇あそび (指導法) S	1	幼稚園教諭及び保育所保育士の経験がある教員が指導する。領域「表現」のねらいと内容について理解する。子どもの発達に即した遊びの過程を理解し、どのような援助が必要かを考える力、子どもの表現を育てる実践力や指導法を身につける。
1	K1-S20	児童文化S	1	幼稚園教諭及び保育所保育士の経験がある教員が指導する。児童文化の重要性を十分に認識し、内容を把握し、実習を行い、児童文化の分野の実践的な指導ができるようになることを目標とする。製作実習、児童文化財を使用した演習(部分実習)を行う。
1	K1-S22	教育実習 事前事後指導S	1	幼稚園教諭及び保育所保育士の経験がある教員が指導する。習に向けた「事前」の心がまえや準備に関する基礎的知識を理解する。観察記録の作成、指導計画の立案方法を理解する。
1	K1-S23	教育実習①S	1	幼稚園教諭としての経験がある教員が指導する。幼稚園における教育内容や幼稚園機能、幼稚園教諭の職務及び役割について、体験を通して理解する。また、観察記録の作成や部分実習の指導計画を立案することができる。
2	K2-K10	子ども家庭福祉	2	現在、認定こども園園長として保育に携わる教員が指導する。保育者として子どもの最善の利益を図るための基礎的な知識を習得し、子ども家庭福祉の課題について総括的に考察できる力を養う。
2	K2-K13	保育原理	2	元保育園園長の経験がある教員が指導する。保育の意義、保育所保育指針における保育の基本、乳幼児の特性や保育の思想・制度の発達などを理解し、保育に関する基本的な知識を学習する。
2	K2-K16	保育の心理学	2	臨床心理士として教育機関などでカウンセリングに携わる教員が指導する。保育実践に関わる発達理論等の心理学的知識を踏まえ、発達を捉える視点について理解する。子どもの発達に関わる心理学の基礎を習得し、養護及び教育の一体性に即した援助、保育における人との相互的関わりや体験、環境の意義を理解する。

2	K2-K17	子ども家庭支援の心理学	2	公認心理師・臨床発達心理士として児童養護施設や障害児入所施設で心理的ケアに携わる教員が指導する。生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題等について理解する。また、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得する。
2	K2-K18	子ども家庭支援論	2	現在、認定こども園園長として保育に携わる教員が指導する。子育て家庭に対する支援の意義・目的、保育の専門性を活かした子ども家庭支援の意義と基本を理解する。また、家庭支援の現状や課題についても学ぶ。
2	K2-K19	幼児への特別な支援	1	福祉型障害児入所施設の施設長として障害児保育携わる教員が指導する。インクルーシブ教育を含む特別支援教育に関する理念や制度の仕組みを学習し、特別の支援を必要とする幼児（知的障害・発達障害・肢体不自由・視覚障害・聴覚障害等）の心身の発達、心理的特性、学習の過程を理解する。
2	K2-K20	子どもの保健	2	こども病院看護師、保育所看護師の経験がある教員が指導する。子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義、身体的な発育・発達と保健、子どもの心身の健康状態とその把握方法等を理解する。また、子どもの疾病とその予防法及び他職種間の連携の下での適切な対応を学ぶ。
2	K2-K21	子どもの食と栄養	1	管理栄養士として病院への勤務経験がある教員が指導する。小児の発育・発達の特性、栄養に関する知識をふまえ、小児期における心身の発達段階に応じた栄養法、集団給食、食教育の重要性を理解することを目標とする。
2	K2-K23	乳児保育Ⅰ	2	助産師として乳幼児保健・医療に携わる教員が指導する。乳児保育の意義と目的、歴史的変遷及び役割、保育所、乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について理解する。3歳児未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制、職員間や保護者、関係機関等の連携について学ぶ。
2	K2-K24	乳児保育Ⅱ (演習)	1	助産師として乳幼児保健・医療に携わる教員が指導する。3歳未満児の発育・発達の過程や特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方について学び、養護及び教育の一体性を踏まえた子どもの生活や遊び、保育の方法や環境、配慮について理解する。
2	K2-K29	教育相談	2	公立小学校のスクールカウンセラー業務に携わる教員が指導する。幼児理解の意義・方法について理解し、幼児理解（個と集団）と発達・学びとの関連性を理解する。幼児期における教育相談の意義を理解し、教育相談に関わる心理学の基礎的な理論・概念を理解する。また、カウンセリングマインドの必要性を理解し、カウンセリングの基礎的な態度・技法を学び、これらを生かした保護者への子育て支援に関して理解する。

2	K2-K31	保育実践演習	1	幼稚園教諭及び保育所保育士の経験がある教員が指導する。自らの学びを振り返り、保育者として必要な知識・技能の習得を確認し、保育者として必要なコミュニケーション能力を習得し、使命感と職務内容について理解する。
2	K2-K32	子どもの健康と安全（演習）	1	こども病院看護師、保育所看護師の経験がある教員が指導する。保健的観点で踏まえた保育環境及び援助、保育における健康及び安全管理、子どもの体調不良等に対する適切な対応、感染症対策、子どもの発達や状態等に即した適切な対応等を学ぶ。
2	K2-K36	保育実習Ⅰ（施設）	2	施設保育士としての経験がある教員が指導する。施設現場で養護と療育を経験することにより、これまで学習してきた理論や技術が、保育の実践と具体的にどのように繋がるのか理解する。また、保育の技術や、能力を向上させ、保育観や子ども観を深める。
2	K2-K37	保育実習指導Ⅱ（演習）	1	保育所保育士の経験がある教員が指導する。「保育実習事前事後指導」「保育実習（保育所）」、その他の教科で学習した内容を基盤に、保育所の理解、子どもや家庭について理解を深める。指導計画の作成や記録など実践力を養う。
2	K2-K38	保育実習Ⅱ	2	保育所保育士の経験がある教員が指導する。保育実習Ⅰ（保育）を通して学んだ技術と理論を基礎として、保育士として必要な資質・能力・技術を向上させる。また、子育て支援についても学ぶ。
2	K2-K40	実習事前・事後指導Ⅱ	2	幼稚園教諭及び保育所保育士の経験がある教員が指導する。実習事前・事後指導Ⅰに引き続き、実習中の自らの課題を明確にする。実習の事後指導を通じて、実習の総括と自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にする。
2	K2-K44	実践講座Ⅱ	1	保育教諭の経験がある教員が指導する。実践講座Ⅰに引き続き、季節の歌や語り継がれる童謡、手遊び、リズム表現等の保育技術を学ぶ。また、保育現場で必要な造形表現技術、児童文化財の製作から実践について学ぶ。
2	K2-K45	こどもと絵本	4	保育所園長、図書館司書等の経験がある教員が指導する。絵本を通じて集中力・理解力・人間関係など様々な力が育まれるよう、子どもと絵本の関わり方を学習する。また、絵本に関する知識、技能、感性を学び、絵本の選択力、指導力、表現力、コミュニケーション力を身につける。
2	K2-K48	卒業研究	1	幼稚園教諭及び保育所保育士の経験がある教員が指導する。これまでの学習を通して、さらに学びたいと考えている事柄について自ら研究を深め、専門分野の知識を高める。研究物のまとめ方などの手法を学び、自分の考えを分かりやすく表現することを体験する。
2	K2-S14	障害児保育S	1	福祉型障害児入所施設の施設長として障害児保育に携わる教員が指導する。障害児保育の対象となる障がいの特徴について理解し、障害児保育の実際や保護者支援に関する基礎的な知識を習得する。

2	K2-S15	子どもの食と 栄養S	1	管理栄養士として病院への勤務経験がある教員が指導する。子どもの食と栄養で学んだことを基礎とし、保育者として小児に適切な食事を提供できるよう、各時期の特性や栄養について理解し、調理技能の習得を目指す。
2	K2-S16	社会的養護ⅡS	1	児童養護施設施設長として施設養護に携わる教員が指導する子どもの理解を踏まえた社会的養護の基礎的な内容、施設養護及び家庭養護の実際について理解する。また、社会的養護における計画・記録・自己評価の実際、子どもの虐待防止と家庭支援について理解する。
2	K2-S19	子育て支援S	1	現在、保育所園長として保育所保育に携わる教員が指導する。子育て支援・相談援助活動の基礎を習得し、援助展開における援助関係の形成、援助過程や各技術を効果的に活用するための理論と方法を学ぶ。また保育士の行う子育て支援について実践事例を通して具体的に理解する。
2	K2-S21	保育実践演習S	1	幼稚園教諭及び保育所保育士の経験がある教員が指導する。自らの学びを振り返り、保育者として必要な知識・技能の習得を確認し、保育者として必要なコミュニケーション能力を習得し、使命感と職務内容について理解する。発表・議論・ロールプレイ、模擬保育などを組み合わせて行う。
2	K2-S24	教育実習②S	3	幼稚園教諭としての経験がある教員が指導する。教育実習①Sでの経験を踏まえ、幼稚園における教育内容や幼稚園機能、幼稚園教諭の職務及び役割について、体験を通して理解する。また、観察記録の作成や全日実習の指導計画を立案し、実践する。
合計		52科目	76	

「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

分野： 商業実務 学科名： 医療事務科

学年	科目コード	科目名	時間数	単位数	内容
1	I1-K07	医療事務Ⅰ	120	8	保険医療機関で医療事務として勤務実績のある教員が授業担当者である。保険請求のための診療報酬の算定を迅速かつ正確に行う技能を修得する。あわせて、医療保険制度のしくみと役割についても学習する。
1	I1-K09	医療秘書	60	4	保険医療機関で医療事務として勤務実績のある教員が授業担当者である。病院組織や医療現場に特有な医療・医学や医療事務の基礎的知識を学習し、医者や看護師が行う医療行為を事務的に補助するための知識を修得する。
1	I1-K10	基礎医学論	60	4	保険医療機関で看護師として勤務実績のある教員が授業担当者である。医療チームの一員としての医療秘書にとって基本的な医学知識、そのなかでも解剖生理学、からだの仕組みがどうなっているのかを理解する。
1	I1-K14	救命救急講座	30	2	日本赤十字社指導員による日常生活における事故防止、手当の基本、人工呼吸や心臓マッサージの方法、AEDを用いた除細動、止血の仕方、包帯の使い方、骨折などの場合の固定、搬送、災害時の心得などについての知識と技術を学ぶ。
1	I1-K18	病院実習	60	2	近隣医療機関の医療スタッフの協力を得て、これからの医療人を育成することを目的に実施する。病院の実際業務を幅広く体験し、医療人としての心構えを養う。
1	I1-K23	医療業界研究	30	2	保険医療機関で医療事務スタッフとして勤務実績のある教員が授業担当者である。高齢化社会や医療技術の向上により、医療分野は大きく変化している。そのような状況を理解しながら、病院における医療行為や事務的業務の基本や常識について学ぶ。
1	I1-K24	コミュニケーション技法Ⅰ	30	2	市教育委員会でスクールカウンセラーとして勤務実績のある教員が授業担当者である。コンセンサスワークを通して、疑問を持ち自律的な考え方ができる力、周囲の人々と協働できる力を体験していく。また自己理解を深め、他者との関わりについて考えていく。
1	I1-K26	ビジネスマナーⅠ	30	2	五つ星ホテルでフロントスタッフとして勤務実績のある教員が授業担当者である。社会人として必要なマナーを理解し、社内や社外の人と円滑に仕事をすすめるための礼儀作法を身につける。
1	I1-K27	ビジネスマナーⅡ	60	4	五つ星ホテルでフロントスタッフとして勤務実績のある教員が授業担当者である。ビジネスマナーに加え、あらゆる職種に共通する接客接遇の技術を習得し、顧客対応の技術向上を図る。
1	I1-K32	メイク・ファッション	30	1	五つ星ホテルでフロントスタッフとして勤務実績のある教員が授業担当者である。ビジネスマナーの一部として、それぞれの場面に応じたメイクやファッションについて理解を深め、自ら表現できるようにする。

2	I2-K08	医療事務Ⅱ	180	12	保険医療機関で医療事務として勤務実績のある教員が授業担当者である。より実務レベルを想定した診療報酬計算を身に付ける。また現場職員のスキルアップの位置づけとされている、診療報酬請求事務能力認定試験の合格を目指す。
2	I2-K13	栄養	30	2	管理栄養士として病院にて勤務実績のある教員が担当する科目である。社会人として持続的に活躍するために必要な自身の健康管理として、栄養バランスのとれた食生活を身に着けることで社会人になる為の生活基礎力を学習する。
2	I2-K16	医事コンピュータⅡ	60	2	保険医療機関で医療事務として勤務実績のある教員が授業担当者である。1年次で修得した外来診療の知識の上に、入院に伴う算定処理についての知識を身につけ、上位級の検定試験に合格することを目指す。
2	I2-K17	ケアコミュニケーション	30	1	保険医療機関で医療事務スタッフとして勤務実績のある教員が授業担当者である。医療現場で好感・安心感を高めるコミュニケーションの基本として、患者様の状況に応じた対応など各種場面での対応を学習する。
2	I2-K22	電子カルテ	30	1	保険医療機関で医療事務スタッフとして勤務実績のある教員が授業担当者である。電子カルテシステムでは、診療記録は受付や会計・検査室・資料室などで即座に閲覧できる。これらのシステムの基礎知識を学ぶとともに基本的な操作方法を習得する。
2	I2-K25	コミュニケーション技法Ⅱ	30	2	五つ星ホテルでフロントスタッフとして勤務実績のある教員が授業担当者である。ビジネス会話の基本である言葉づかいから、相手に好印象を与えるための聞く態度・話す態度、仕事の基本である報告・連絡・相談などの基礎的なコミュニケーション能力を養う。
2	I2-K28	パソコンリテラシー	60	2	IT企業で文書作成からパソコン設定まで勤務実績のある教員が授業担当者である。基本的な文書作成から周辺機器トラブルの対応、クラウドツールなどの活用ができる知識を学習する。
2	I2-K35	カラーコーディネイト	30	1	カラーコンサルティング関連企業でカラーアナリストとして勤務実績のある教員が授業担当者である。色彩学の基礎を学び、ビジネスの場面や自分に合った色を理解するとともに、待合室の雰囲気づくりなど活用する知識を身につける。
合計		18科目	960	54	

「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

分野： 工業 学科名： 国際IT・CAD科

学年	科目コード	科目名	時間数	単位数	内容
1	R1-K07	ビジネスマナー	30	1	民間企業で採用を担当していた教員が社会人として必要な立ち振る舞いを指導する。相手を不快にさせず、人間関係を円滑にするための言葉づかい、姿勢、表情も身に付けさせる。
1	R1-K21	IT基礎技術 I	60	4	民間企業でオフィスソフトウェアを活用した実務経験のある教員が、コンピュータの基本的な操作、ファイルとフォルダの管理、タイピング、Microsoft Office (Word、Excel) を学ぶ。
1	R1-K28	人的マネジメントと組織 I	30	2	製造業で人事担当として採用および社員教育の業務を行っていた教員が、製造業の組織、業務、職種の基礎を指導する。
1	R1-K32	アルゴリズム	30	2	民間企業でプログラミング業務経験のある教員が、プログラムの構築に必要な考え方、これを図式化したフローチャートにより視覚化し、最良の手順で作成する技術を指導する。
1	R1-K35	制御プログラミング I	30	2	民間企業でプログラミング業務経験のある教員がプログラミングの基礎を習得し、身の回りで日常化されている組込み型プログラムについて習得する。
1	R1-K37	基礎製図	60	2	民間企業で製図業務経験がある教員が、機械製図の基礎的な知識・方法、及び立体表現に必要な図学の基礎知識、製図の作成における知識をJIS規格に則り習得し、CAD技術者としての基礎を身につける。
1	R1-K38	製造技術	30	1	製造技術者として実務経験のある教員が、ものづくりにおいて、工具を適材適所に使い分けことが、作業効率を高め、安全に作業することができる。一般的な工具を使えるように実習を通して経験を積む。
1	R1-K39	CAD基礎	90	3	CAD技術者として実務経験がある教員が、世界標準となっているCADソフトAutodesk社のAutoCAD(2次元)、Inventor(3次元)を使用して、CADによる図面作成を指導する。
1	R1-K41	情報リテラシー	30	2	各種メディアとインターネットを理解するための基礎知識、ICTやIoTを安全に使うことができるような情報モラル、情報セキュリティ、著作権について理解し、パソコンやインターネットを正しく安全に使うためのリテラシー能力を身につける。
1	R1-K43	資格検定対策 I	30	1	情報処理技術者および製図業務としての経験がある教員が、CAD利用技術者試験「基礎」ランクの合格を目指し、指導する。
2	R2-K03	就職 II	20	1	海外の民間企業で採用を行っていた教員が内定～入社の間想定される企業とのコミュニケーションについて学ぶ。定例文の学習に加え、ケーススタディを行い、実際の場面で活用できる判断能力を身につける。

2	R2-K04	就労準備	20	1	海外の民間企業で採用を行っていた教員が、就職活動の流れ、企業研究の方法、エントリーシート・履歴書の書き方、面接対策等、就職活動を行う上で必要となる知識・技能を学び、就職に備える。
2	R2-K22	IT基礎技術Ⅱ	30	2	民間企業でオフィスソフトウェアを活用した実務経験のある教員が、MicrosoftOffice (Word、Excel、Powerpoint) を使って、さまざまなドキュメントを作成するスキルを学ぶ。
2	R2-K25	経営学概論	30	2	製造業で実務経験のある教員が担当する。工場のしくみを理解し、製品がどのように作られているか、原価計算、資材管理、生産管理、商品管理などの必要性や他部署との関わりを学ぶ。
2	R2-K26	マーケティング	30	2	販売業でマーケティングの知識を生かし勤務していた教員が、製造業界の現状を学び、生産管理やプロジェクトマネジメント、コスト意識や業務改善提案力など、企業現場で求められている状況に対応できるよう学ぶ。
2	R2-K27	財務管理	30	2	金融機関に勤務していた教員が給与明細を参考に、税金、社会保険、各種控除等の意味を理解し、個人と企業、個人と社会、社会と企業の財務的なつながりについて学ぶ。
2	R2-K29	人的マネジメントと組織Ⅱ	30	2	製造業で人事担当として採用および社員教育の業務を行っていた教員が、製造業での品質管理とそれに携わる業務について指導し、品質管理検定4級の合格を目指す。
2	R2-K36	制御プログラミングⅡ	60	2	民間企業でプログラミング業務経験のある教員が、STEM教育により各種センサを用いて、どのようなしくみで機械をプログラム制御するかを実習をとおして習得する。
2	R2-K40	CAD応用	90	3	CAD技術者として実務経験がある教員がAutoCAD (2次元)、Inventor (3次元) を使用して、複雑な図面作成ができるように指導する。
2	R2-K44	資格検定対策Ⅱ	90	3	情報処理技術者および製図業務としての経験がある教員が、CAD利用技術者試験「2級」ランクの合格を目指し、指導する。
合計		20科目	850	40	

「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

分野： 商業実務 学科名： 国際観光・ビジネス科

学年	科目コード	科目名	時間数	単位数	内容
1	T1-K07	ビジネスマナー	30	1	民間企業で採用を担当していた教員が社会人として必要な立ち振る舞いを指導する。相手を不快にさせず、人間関係を円滑にすすめるための言葉づかい、姿勢、表情も身に付けさせる。
1	T1-K21	I T基礎技術 I	60	4	民間企業で実務経験のある教員が、コンピュータの基本的な操作、ファイルとフォルダの管理、タイピング、MicrosoftOffice (Word、Excel) を指導する。
1	T1-K30	営業マネジメント I	30	2	民間企業でマネジメント業務を行っていた教員が観光業界におけるさまざまな「商品」について、観光地の特色と関連付けながら指導する。
1	T1-K32	サービス・接遇 I	120	4	客室乗務員として業務を行っていた教員がサービススタッフとしてのあいさつ、姿勢、敬語の使い方など基本的な項目を指導し、サービス接遇検定準1級ロールプレイング合格を目指す。また、お客様の立場にたった「おもてなし」についても学ぶ。
1	T1-K35	接客英語 I	60	2	ホテルでの実務経験のある教員が主にホテル業界で使用する英語について教える。専門的な単語から頻出表現まで、英語を聞き取り、答えられる能力を身につけさせる。
1	T1-K38	TOEIC対策 I	30	1	海外のホテルで英語を使って業務にあっていた教員が基本的な英語能力の習得を目指し指導を行う。TOEIC400点を目指す。
1	T1-K43	ホテル基礎知識	30	1	ホテルでの実務経験のある教員がホテルの歴史、分類、業界の特徴、各部門の役割と業務等、ホテルについての基礎的な知識について指導する。
1	T1-K44	ホテル実務 I	30	1	ホテルでの実務経験のある教員がホテルの各セクションの業務内容について指導する。また、ホテル実務技能検定試験初級の合格を目指す。
2	T2-K22	I T基礎技術 II	30	2	民間企業で実務経験のある教員が、MicrosoftOffice (Word、Excel、Powerpoint) を使って、さまざまなドキュメントを作成するスキルを指導する。
2	T2-K26	マーケティング	30	2	販売業でマーケティングの知識を生かし勤務していた教員が、生産管理やプロジェクトマネジメント、コスト意識など、企業活動をする上で必要となる関連知識を総合的に学習する。
2	T2-K27	財務管理	30	2	金融機関に勤務していた教員が給与明細を参考に、税金、社会保険、各種控除等の意味を理解し、個人と企業、個人と社会、社会と企業の財務的なつながりについて学ぶ。
2	T2-K31	営業マネジメント II	30	2	民間企業でマネジメント業務を行っていた教員がニューノーマル時代の観光業について、どのようなサービス・商品が今後必要とされるのかを今後の動向を予測し、考察する。
2	T2-K33	サービス・接遇 II	120	4	外資系ホテルにてサービスコンシェルジュとして勤務実績のある教員が指導する。サービススタッフとして、状況を的確に把握し、お客様が求める以上のサービスを提供できるスキルを学ぶ。また、サービス接遇検定3級合格も学習成果として目指す。

2	T2-K34	サービス実習	30	1	販売店で実務経験のある教員が、学生に対して広く接客業にかかわる実践的なサービスを実践し習得させる。
2	T2-K42	ツアープランニングⅡ	60	4	旅行会社で実務経験のある教員が、ニューツーリズムの概念と全国の観光地の知識を習得させる。フィールドワークを行って理解を深めたうえで、2泊3日以上プランニングを行う。
2	T2-K45	ホテル実務Ⅱ	60	2	ホテルでの実務経験のある教員が主にフロント業務、バンケット業務について指導する。基本的なオペレーションのほか、さまざまなホテルが取り組んでいる特徴的なサービスについて研究する。
合計		8科目	780	35	

「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

分野： 教育・社会福祉 学科名： 国際介護福祉科

学年	科目コード	科目名	時間数	単位数	内容
1	F1-K06	人間の尊厳と自立	30	2	福祉業界で実務経験のある教員が、人権や福祉の理念と自立の在り方について指導する。特に、福祉の現場で求められる尊厳の保持と自立支援の重要性を理解し、実践に役立てるための知識を身につけることを目指す。
1	F1-K07	人間関係とコミュニケーション	30	2	福祉業界で実務経験のある教員が、対人関係におけるコミュニケーションの重要性と効果的なコミュニケーション方法について指導する。また、対人援助関係や組織内でのコミュニケーションについても学び、実践的なスキルを獲得を目指す。
1	F1-K09	社会の理解 I	30	2	福祉業界で実務経験のある教員が、地域共生社会の実現に向けた制度や施策、そして社会保障制度、高齢者保健福祉と介護保険制度の知識について指導する。
1	F1-K11	国際生活文化	60	2	福祉業界で実務経験のある教員が、日本の四季折々の文化、食文化、年中行事、葬式、日本の社会通念、あやとりや折り紙などの伝統的な遊びについて指導する。また、日本の生活文化について、国際的な視点からその意義を理解することを目指す。
1	F1-K12	情報社会	30	1	福祉業界で実務経験のある教員が指導する。専門学校での学びの基礎を学ぶ「修学基礎」、WordやExcelなど基本的なITスキルを学ぶ「ITリテラシー」を通し社会人基礎力の向上を目指す。
1	F1-K13	介護の基本 I	60	4	福祉業界で実務経験のある教員が、介護福祉を必要とする人々の背景やニーズ、介護福祉の基本概念と歴史について指導をする。また、介護福祉士の具体的な役割と機能、責任や倫理的な問題に対する対応方法について実践的なスキルを身につけることを目指す。
1	F1-K14	介護の基本 II	60	4	福祉業界で実務経験のある教員が、介護福祉を必要とする人の生活を支えるしくみ、支援体制やサービスの提供方法について指導する。また、介護における安全の確保とリスクマネジメントについて学び、事故防止や緊急時の対応方法の習得を目指す。
1	F1-K17	コミュニケーション技術 I	30	1	福祉業界で実務経験のある教員が、介護現場における利用者との信頼関係の構築や、効果的なコミュニケーション技術について指導する。また、非言語コミュニケーション、傾聴の技法を実践し、利用者の特性に応じた対応方法の習得を目指す。
1	F1-K19	生活支援基礎	50	2	福祉業界で実務経験のある教員が、ボディメカニクス、ベッドメイキング、浴衣の着方、裁縫などの基礎となる生活支援について指導する。また、災害時における生活支援、緊急時の対応方法の習得を目指す。

1	F1-K21	生活支援技術 I	50	2	福祉業界で実務経験のある教員が、自立に向けた移動・身じたく・食事の介護技術を中心に指導する。基本的な生活支援技術を習得し、介護現場での実践力を高めることを目指す。
1	F1-K22	生活支援技術 II	80	2	福祉業界で実務経験のある教員が、自立に向けた入浴・清潔保持の介護、排泄の介護、休息・睡眠の介護について指導する。また、人生の最終段階における介護と応急手当の知識と技術を習得し、緊急時の対応方法を身につけることを目指す。
1	F1-K24	介護過程 I	90	3	福祉業界で実務経験のある教員が、介護過程の基礎、介護過程を展開する上での注意点について指導する。事例を多く用いた学習を通じて、介護過程の実際の展開方法の習得を目指す。
1	F1-K27	介護総合演習 I	30	1	福祉業界で実務経験のある教員が、介護実習を行うために、介護実践に必要な知識と技術の統合や、専門職としての心構えを指導する。実習後は知識と技術と実践を統合し、次の実習に向け自身の課題と専門職としての姿勢を明確にすることを旨とする。
1	F1-K28	介護総合演習 II	40	1	福祉業界で実務経験のある教員が、介護実習を行うために、介護実践に必要な知識と技術の統合や、専門職としての心構えを指導する。実習後は知識と技術と実践を統合し、科学的で根拠ある介護実践について理解を深めることを目指す。
1	F1-K31	介護実習 I	140	4	福祉業界で実務経験のある教員が指導する。福祉サービスが必要とする人々の様々な生活の場、また多様な暮らしを実践を通し理解する。利用者や家族とのコミュニケーションを中心に、基本的な生活支援技術の実践、多職種協同の実践や、地域との関わりを学ぶ。
1	F1-K32	介護実習 II	214	7	福祉業界で実務経験のある教員が指導する。高齢者または障害者施設にて介護過程の展開を中心に実践する実習とする。利用者の主体性を理解し、基本的な生活支援技術の実践、介護福祉士の役割などを理解する。
1	F1-K34	こころとからだのしくみ I	90	6	福祉業界で実務経験のある教員が指導する。健康とはなにか、こころのしくみ、からだのしくみ、移動・身じたく・食事に関連したこころとからだのしくみの知識の習得を目指す。
1	F1-K36	発達と老化の理解 I	30	2	福祉業界で実務経験のある教員が指導する。人間の成長と発達の基礎的知識、人間の発達段階と発達課題、老年期の特徴と発達課題について知識の習得を目指す。
1	F1-K38	認知症の理解 I	30	2	福祉業界で実務経験のある教員が指導する。認知症の基礎的理解、認知症の症状・診断・治療・予防、障害をかかえて生きることへの支援について知識の習得を目指す。

2	F1-K05	国家試験対策	90	6	福祉業界で実務経験のある教員が、人間と社会の領域、介護の領域、こころとからだのしくみの領域、そして総合問題に焦点を当て、学生が国家試験に必要な知識について指導する。
2	F2-K08	チームマネジメント	30	2	福祉業界で実務経験のある教員が、介護実践におけるチームマネジメントについて、ケアの質を向上させる方法や、人材育成・自己研鑽のための戦略、組織の目標達成に向けたアプローチを理解し、実践できる能力と態度について指導する。
2	F2-K10	社会の理解Ⅱ	30	2	福祉業界で実務経験のある教員が、社会と生活のしくみ、障害者保健福祉と障害者総合支援制度、そして介護実践に関連する諸制度について指導する。
2	F2-K15	介護の基本Ⅲ	30	2	福祉業界で実務経験のある教員が、自立に向けた介護福祉のあり方について、自立支援、ICFの考え方、自立支援とリハビリテーションについて指導する。
2	F2-K16	介護の基本Ⅳ	30	2	福祉業界で実務経験のある教員が、協働する多職種の機能と役割と介護従事者の安全について指導する。
2	F2-K18	コミュニケーション技術Ⅱ	30	1	福祉業界で実務経験のある教員が、家族やチームメンバーとの効果的なコミュニケーション方法について指導する。また、家族との連携、家族会議の進め方や多職種連携の方法を実践する。チーム内での円滑なコミュニケーションを図り、介護現場でのチームケアを向上を目指す。
2	F2-K20	生活支援応用	60	2	福祉業界で実務経験のある教員が、居住環境の整備、福祉用具の意義、自立に向けた家事の介護について指導する。また、介護現場での応用力を高めることを目指す。
2	F2-K23	生活支援技術Ⅲ	60	2	福祉業界で実務経験のある教員が、利用者の状態・状況に応じた支援技術と障害に応じた生活支援技術について指導する。学生が個々の利用者に適した支援技術を習得し、介護現場での応用力を高めることを目指す。
2	F2-K25	介護過程Ⅱ	30	1	福祉業界で実務経験のある教員が、介護実習を通じて介護過程を実施するためのスキルについて指導する。実際の現場での経験を基に、介護過程の各ステップを実践し、適切な介護計画を立案することを目指す。
2	F2-K26	介護過程Ⅲ	30	1	福祉業界で実務経験のある教員が、介護過程を実施し、その評価を行う。実施した介護過程の内容を振り返り、評価結果を基に改善点を見つけ、発表を行う。

2	F2-K29	介護総合演習Ⅲ	30	1	福祉業界で実務経験のある教員が、介護実習を行うために、介護実践に必要な知識と技術の統合や、専門職としての心構えを指導する。実習後は科学的で根拠ある介護実践を通し、自身の介護観が確立を目指す。
2	F2-K30	介護総合演習Ⅳ	20	1	福祉業界で実務経験のある教員が、介護実習Ⅲの事例を通し、介護実践の振り返り、科学的な根拠ある介護とは何か再考できるよう指導する。また自身の介護観を確立し、専門職としての基礎を醸成することを目指す。
2	F2-K33	介護実習Ⅲ	256	8	福祉業界で実務経験のある教員が指導する。高齢者または障害者施設にて介護過程の展開を中心に実践する実習とする。介護過程の一連のプロセスを実践し、利用者のニーズについて理解を深める。また、多職種協同の意義、チームケアを体験的に学ぶ。
2	F2-K35	こころとからだのしくみⅡ	30	2	福祉業界で実務経験のある教員が指導する。入浴・清潔保持・排泄・休息・睡眠・人生の最終段階のケアに関連したこころとからだのしくみの知識の習得を目指す。
2	F2-K37	発達と老化の理解Ⅱ	30	2	福祉業界で実務経験のある教員が指導する。老化にもとなうこころとからだの変化と生活、高齢者と健康について知識の習得を目指す。
2	F2-K39	認知症の理解Ⅱ	30	2	福祉業界で実務経験のある教員が指導する。認知症ケアの実際、介護者支援、認知症の人の地域生活支援について知識の習得を目指す。
2	F2-K40	障害の理解	60	4	福祉業界で実務経験のある教員が指導する。障害の概念と障害福祉の基本理念、障害者別の基礎的理解と特性に応じた支援、連携と協働、家族への支援について知識の習得を目指す。
2	F2-K41	医療的ケア基礎	68	4	福祉業界で実務経験のある教員が指導する。医療的ケア実施の基礎、喀痰吸引、経管栄養について知識の習得を目指す。
2	F2-K42	医療的ケア演習	30	1	福祉業界で実務経験のある教員が指導する。喀痰吸引、経管栄養、救急蘇生法について演習を実施し、利用者に適した支援方法を身に付けることを目指す。
合計		38科目	2,148	96	